

伝統を未来へつなぐ

神楽交流会



1_ 交流の証しにお互いのメッセージを書いた色紙を交換
2_ 能舞台上で練習の成果を発表する深谷小学校の児童

12月1日、深谷小学校と山元町立坂元小学校の児童がお互いに舞を発表する神楽交流会を碧水園で実施しました。深谷小学校では、「深谷神明神楽」を平成12年から地元保存会の協力を得て5年生が取り組んでいます。坂元小学校では、山元町立中浜小学校に伝えられてきた「中浜こども神楽」を統合をきっかけにして、新たに作り上げた「坂元こども神楽」に取り組んできました。

初めての交流となったこの日は、深谷小学校5・6年生12人と坂元小学校4年生13人が参加。会場には深谷小学校3・4年生と発表する児童の保護者などが見守り、それ以外の児童はオンラインで見学しました。「深谷神明神楽」は継承を担う5年生が1人だけのため、6年生も加わり一緒に発表しました。参加した両校の児童からは、お互いの発表をたたえる声が聞かれ、両校とも堂々とした演舞を披露しました。

ストップ！ 高齢者虐待

高齢者虐待防止への普及啓発活動

12月7日、ヨークベニマル白石店で高齢者虐待防止への普及啓発活動を行いました。この活動は、高齢者虐待件数の増加を受け、高齢者虐待の早期発見に向けた地域の方々による見守りを普及し、虐待の防止につなげようと「白石市高齢者虐待防止対策推進会議」が初めて実施したものです。この日は、白石警察署員や市内4中学校の生徒で構成するPSCパトロールの防犯活動と一緒に、「高齢者相談はこちらへ！」とメッセージが入ったポケットティッシュとチラシを市民に手渡しました。

同会議の佐藤裕美子副会長は「高齢者虐待は、高齢者がつらくても声を出せなかったり、養護者が虐待をしている自覚がなかったりする場合があります。このような啓発活動を通して、高齢者虐待防止を意識するきっかけとなるように今後も地域の方に声を掛けていきたいです」と話してくれました。



1_ 高齢者虐待防止を訴え、ポケットティッシュとチラシを配る職員 2_ 全員で記念撮影。安全・安心な地域づくりを目指します

白石のササニシキが全国1位に！

第6回全国ササニシキ系「ささ王」決定戦2022

11月25日、大崎市でササニシキ系米のおいしさを競う「第6回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦2022」が開催され、宮城白石産ササニシキ復活プロジェクトのひとり、佐藤良夫さんのササニシキが「金ささ賞」を受賞しました。

惜しくも「ささ王」は逃しましたが、「他の生産者に劣らない、質の良いお米になった」と手応えを実感していた佐藤さん。全国から出品された63点の中で見事1位に輝き、最も食味と品質が優れていると評価されました。



▲授賞式に参加した佐藤さん

命を守る共助の取り組み

保育園と企業が合同避難訓練

11月17日、白石はるかぜ保育園と隣接する株式会社トーカドーエナジー白石工場が合同で避難訓練を実施しました。これは地域防災推進の取り組みとして実現したものです。

この日は、地震発生後に保育園給食室より出火した想定で実施。園児たちの避難時には同工場社員も一緒に避難誘導を行い迅速に避難を完了することができました。同園の佐々木淳子園長は「これからも地域の協力を得ながら防災に取り組んでいきたいです」と話してくれました。



▲園児たちが応援する中、先生も放水訓練に挑戦！

竹馬で仲良く元気に交流！

大鷹沢小学校「竹馬交流会」

12月9日、大鷹沢小学校で竹馬交流会が行われました。今回の交流会は、例年の竹馬大会とは違う親子竹馬体験など親子交流を取り入れての開催となりました。この日は、全校児童と保護者が参加。親子で竹馬ウォーキングを行い、児童は陣取りゲームや色別対抗リレーなどで、竹馬に乗りながら元気に交流しました。

参加した児童は「みんなと一緒に仲良く竹馬に乗れて楽しかったです」と笑顔で話してくれました。



▲保護者も児童と一緒に竹馬体験！